

■運営委員会委員長:小島誠治(筑波大) ■運営委員会幹事会代表:渡辺好章(同志社大) 副代表:山中一司(東北大), 酒井啓司(東大) 委員:秋山いゝき(同志社大), 梅村晋一郎(東北大), 荻博次(大阪大), 金井浩(東北大), 榎引淳一(東北大), 黒澤実(東工大), 近藤淳(静岡大), 崔博坤(明治大), 中村健太郎(東工大), 橋本研也(千葉大), 蜂屋弘之(東工大), 松川真美(同志社大), 水谷孝一(筑波大), 渡部泰明(首都大) ■オブザーバ:伊藤洋一(日大) ■アドバイザー:香田忍(名古屋大) ■監事:中川恭彦(山梨大), 門田道雄(東北大)

■実行委員会委員長:蜂屋弘之(東工大) 副委員長:梅村晋一郎(東北大) 委員:秋山いゝき(同志社大), 荻博次(大阪大), 近藤淳(静岡大), 酒井啓司(東大), 松川真美(同志社大), 渡部泰明(首都大)

■現地実行委員会委員長:伊藤洋一(日大) 委員:大隅歩(日大), 崔博坤(明治大), 野村英之(電通大), 畑中信一(電通大), 平田慎之介(東工大), 平野太一(東大), 三浦光(日大), 美谷周二朗(東大), 山口匡(千葉大), 山本健(関大)

■論文委員会委員長:秋山いゝき(同志社大) 副委員長:近藤淳(静岡大)

委員:梅村晋一郎(東北大), 荻博次(大阪大), 小田川裕之(熊本高専), 垣尾省司(山梨大), 金井浩(東北大), 工藤すばる(石巻専修大), 工藤信樹(北大), 黒澤実(東工大), 崔博坤(明治大), 酒井啓司(東大), 椎名毅(京都大), 志村拓也(海洋研究開発機構), 竹内真一(桐蔭横浜大), 田中秀治(東北大), 土屋隆生(同志社大), 土屋健伸(神奈川大), 中村健太郎(東工大), 中村敏明(防衛大), 野村英之(電通大), 橋本研也(千葉大), 長谷川英之(東北大), 蜂屋弘之(東工大), 原田明(九州大), 原田久志(明星大), 疋田光孝(工学院大), 榎田晃司(農工大), 松岡辰郎(名古屋大), 松川真美(同志社大), 水谷孝一(筑波大), 三原毅(富山大), 守本純(防衛大), 安井久一(産総研), 山田晃(農工大), 山田颯(東北学院大), Oliver B. Wright(北大), 渡部泰明(首都大)

■運営委員 青柳学(室蘭工大), 赤尾慎吾(凸版印刷), 朝倉義幸(本多電子), 浅田隆昭(村田製作所), 東隆(東大), 足立和成(山形大), 阿部洋(NECトキオン), 荒川元孝(東北大), 碓哲雄(宮崎大), 生嶋健司(農工大), 石井孝明(山梨大), 伊藤洋一(日大), 井原郁夫(長岡技大), 井上浩(放送大), 今野和彦(秋田大), 岩瀬良一(海洋研究開発機構), 上田政則(太陽誘電), 遠藤信行(神奈川大), 大平悦三(桐蔭横浜大), 大野正弘(千葉工大), 大森達也(千葉大), 岡崎正喜(日本電波工業), 岡林一郎(コニカミノルタ), 興津健二(大阪府立大), 小倉幸夫(ジャパンプロープ), 小原良和(東北大), 鎌倉友男(電通大), 神山直久(GEヘルスケア・ジャパン), 唐澤弘行(富士フイルム), 川勝孝治(村田製作所), 川畑健一(日立製作所), 神田岳文(岡山大), 菊池年晃(防衛大), 木村友則(三菱電機), 小池義和(芝浦工大), 黄啓新(神奈川工科大), 五箇繁善(首都大), 小塚晃透(産総研), 後藤信夫(徳島大), 小林和人(本多電子), 小林牧子(熊本大), 小山大介(同志社大), 近藤隆(富山大), 西條芳文(東北大), 齋藤敦史(芝浦工大), 齋藤晋聖(北大), 齋藤史郎(東工大), 坂本真一(滋賀県立大), 佐藤隆幸(首都大), 佐藤雅弘(富山大), 塩嵩忠(奈良先端大), 鹿田真一(産総研), 菅原澄夫(石巻専修大), 杉本恒美(桐蔭横浜大), 須崎琢而(堀場製作所), 副島潤一郎(カイジョー), 高崎正也(埼玉大), 田川憲男(首都大), 竹内正男(タッチパネル・システムズ), 竹中正(東京理科大), 田村英樹(東北工大), 沈青(電通大), 辻俊宏(東北大), 土屋利雄(海洋研究開発機構), 鶴ヶ谷芳昭(三陽精工), 得永嘉昭(金沢工業大), 直井純(海洋研究開発機構), 中川誠司(産総研), 中曾教導(凸版印刷), 中田穂積(大真空), 永田肇(東京理科大), 長谷芳樹(神戸高専), 西野秀郎(徳島大), 西森靖(古野電気), 新田尚隆(産総研), 野毛悟(沼津高専), 橋本雅彦(パナソニック), 長谷川弘治(室蘭工大), 畑中信一(電通大), 林高弘(京都大), 平尾雅彦(大阪大), 平田慎之介(東工大), 平野太一(東大), 飛龍志津子(同志社大), 藤井知(千葉大), 星宮務(東北学院大), 細川篤(明石高専), 細田真妃子(東京電機大), 増山裕之(鳥羽高専), 松田理(北大), 三浦光(日大), 三須幸一郎(鳥取大), 美谷周二朗(東大), 三留秀人(産総研), 南出章幸(金沢高専), 三竹毅(日立アロカメディカル), 宮崎尚(防衛大), 森和義(防衛大), 森田剛(東大), 屋内伸治(沖電気工業), 谷津田博美(日本無線), 柳谷隆彦(名工大), 山川誠(京都大), 山口匡(千葉大), 山越芳樹(群馬大), 山本健(関西大), 山本弘(日立建機), 山本満(日本電気), 山本泰司(日本電波工業), 吉岡正裕(産総研), 若槻尚斗(筑波大), 若月昇(石巻専修大), 和高修三(愛電湘南エレクトロニクス), 渡邊佳孝(海洋研究開発機構), Kang-Lyeol Ha(Pukyong National Univ.), Bong-Chae Kim(Korea Institute of Ocean Science and Technology), Moojoon Kim(Pukyong National Univ.), Jeehyeong Khim(Korea Univ.), Yuu Ono(Carleton Univ.), Jong Rak Yoon(Pukyong National Univ.)

■顧問 大谷隆彦, 尾上守夫, 岡野光治, 門田道雄, 川端昭, 斎藤繁実, 清水康敬, 高木聖志郎, 中鉢憲賢, 辻野次郎丸, 富川義朗, 永井啓之亮, 中川恭彦, 中村昭, 中村信良, 根岸勝雄, 野村浩康, 畑明延, 森森司, 山口正恆, 山之内和彦

シンポジウム開催期間 12月3日(水)～12月5日(金)

講演申込締切	8月4日(月) 24:00JST
論文集原稿(A4x2頁)締切	8月27日(水) 24:00JST
講演者参加申込・支払締切	10月14日(火)
参加費事前割引支払締切	10月24日(金)
JJAP論文特集号原稿締切	12月12日(金) 24:00JST

シンポジウム会場

明治大学駿河台アカデミーコモン

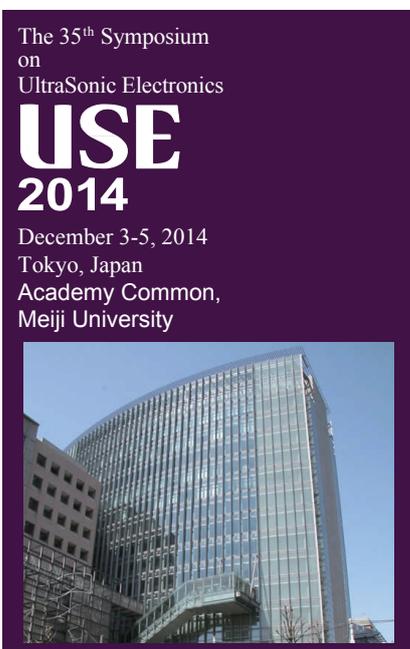
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

<http://www.meiji.ac.jp/>

○JR中央線・総武線, 東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 徒歩3分

○東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 徒歩5分

○都営地下鉄三田線・新宿線, 東京メトロ半蔵門線/神保町駅 徒歩5分



期間: 平成26年12月3日(水)～5日(金)

会場: 明治大学駿河台アカデミーコモン (東京都千代田区)

<http://use-jp.org>

第35回 超音波エレクトロニクス の基礎と応用に関するシンポジウム

主催: 超音波シンポジウム運営委員会

(NPO超音波エレクトロニクス協会に移行予定)

共催: 応用物理学会

協賛: 映像情報メディア学会/海洋音響学会/精密工学会/超音波工業会/電気学会/電子情報通信学会/日本音響学会/日本化学会/日本学術振興会弾性波素子技術第150委員会/日本機械学会/日本金属学会/日本生体医工学学会/日本ソノケミストリー学会/日本超音波医学会/日本非破壊検査協会/日本物理学会/日本分光学会/日本分析化学会/日本分析機器工業会/非線形音響研究会/IEEE UFFC Society Japan Chapter (本シンポジウムは村田学術振興財団の援助を受けています。)

USE ホームページから「超音波用語辞典 (電子版)」が自由に閲覧できます。

USE 2014

ごあいさつ

USE2014 運営委員長

小島 誠治(筑波大学)

本シンポジウムは、超音波関連分野の基礎から応用に携わる研究者が一堂に会し、発表と討論を通じて互いの成果を共有し、学術の進展に寄与することを目的として1980年12月に第1回が開催されました。以来、この基本理念を堅持しながら毎年開催され、今年は第35回目を迎えます。本シンポジウムで得られた多くの学術的成果は、論文として応用物理学会英文誌JJAPの特集号に収録され、世界的にも高い評価を受けています。また、この学術交流の場を、国内外を問わず、より多くの研究者・技術者に提供するために、講演論文の英文化、英語口頭セッションの設置、日本語口頭発表のスライドの英語表記または日英併記、ポスターセッションの英語発表を進めてまいりました。その結果、最近では海外からの参加者が10%程度を占め、少しずつ国際化が進んでおります。本年度のUSE2014は、明治大学アカデミーコモンにおいて、2014年12月3日(水)～5日(金)に開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちいたします。

■超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、Japanese Journal of Applied Physicsに論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Best Paper Award)を贈呈します。

■超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者(ポスターの場合は発表者)で、シンポジウム開催翌年(今回は2015年)の3月31日未満で満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Young Scientist Award)を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申込時に申請してください。

両賞とも授賞式は次年度のシンポジウムで行ないます。

USE 2014

論文募集分野

1. 超音波物性, 材料, フォノン物理, 光超音波エレクトロニクス
2. 測定技術, 映像法, 非破壊評価
3. 圧電デバイス(バルク波デバイス, 弾性表面波デバイス)
4. 非線形, 強力超音波, ソノケミストリー
5. 生体医用超音波
6. 海洋音響

JJAP 特集号論文投稿について

(Web投稿先は講演採択者にお知らせします。)
論文委員長 秋山 いわき(同志社大)

【論文関係問合せ先】 program@use-jp.org

秋山 いわき(同志社大)
Tel/Fax: 077-465-6244

仙台共同印刷(投稿Webサイト技術サポート)
Tel: 022-236-7161 Fax: 022-236-7163

■講演申込(8月4日(月)24:00JSTまで) USEホームページから申し込んで下さい。この申し込みデータは論文委員会において採否決定に使われます。「英語セッション」は英語で発表、討論を行うセッションです(講演論文原稿も英語)。みなさまの積極的な参加をお待ちしています。本年度も、ポスターセッションは英語にて行います。また、超音波シンポジウム奨励賞の申請者は講演申込とともに申請登録を忘れずに行ってください。

■講演論文の原稿(8月27日(水)24:00JSTまで) 文字化けを防ぐためdoc, pdf形式の両方をホームページからご提出下さい。執筆要綱, テンプレートもホームページをご参照下さい。過去の講演論文集はUSEホームページから閲覧することができます。講演論文は、シンポジウム終了6か月後ごろにホームページに公開します。このことに支障のある方は、原稿提出時にお申し出下さい。

■講演採択の決定 論文委員会で審査を行い、採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は9月初中旬ごろに電子メールで講演申込者に配信予定です。

■講演者の参加申込・支払および講演登録料支払(10月14日(火)まで) 講演原稿が採択された講演者は、必ず期限までに参加申込を済ませ、参加費および講演登録料(1件5,000円)をお支払い下さい。お支払いの際は講演者名義で発表1件ごとにお支払い下さい。

■JJAP特集号論文の原稿(12月12日(金)24:00JSTまで) 講演が採択され、USEにて発表の方はJJAP(Japanese Journal of Applied Physics)特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿はWebで行いますが、投稿先URL, 投稿要領はシンポジウム講演の採択通知後にお知らせします。

USEホームページ <http://use-jp.org>

USE 2014

USE 懇親会

日時: 12月4日(木) 18:00(予定)

会場: 岸本辰雄記念ホール
(リバティタワー23階)

会費: 一般 6,000円 学生 4,000円
retired 4,000円

総合問合せ先

USE2014 運営委員会幹事会
現地実行委員長 伊藤 洋一(日大)

steering@use-jp.org

■参加申込 参加される方はUSEホームページ上でアカウントを取得し、作成されたマイページ上からお申し込み下さい。参加費は下記のとおりです。懇親会費、講演登録料も支払えます。支払いはクレジットカードまたは専用の郵便振替用紙を用いて参加者一人ずつ行ってください。所属機関から郵便振替で送金される場合は、振替用紙に参加者ご本人の氏名を明記して下さい。

郵便振替口座番号: 00800-4-122038 加入者名: 超音波シンポジウム
クレジットカード払い方法についてはUSE2014ホームページをご参照ください。ホームページからの参加申し込みは会期前日まで可能ですので、できる限り申込を済ませてから会場にお越し下さい。また、10月24日(金)までに参加費を送金される場合は割引価格が適用されますので、早めの申し込み、お支払いをお勧めします。それ以降は会期当日、現金でお支払い下さい。

■参加費 10月24日(金)まで: 18,000円(一般) 5,000円(学生) 5,000円(retired*)
10月25日(土)以降: 20,000円(一般) 6,000円(学生) 6,000円(retired*)

*retired 大学、企業等を退職されて所属の無い方

講演者につきましては、10月14日(火)までに参加費・講演登録料のお支払いがない場合は、講演を取り消させていただきます。一般参加費には講演論文集とJJAP特集号(CD-ROM・刊行後送付)の代金が含まれますが、学生参加費・retired参加費には講演論文集のみ含まれます。当日欠席の場合は後日、論文集を郵送します。なお、JJAPを定期購読されている一般の方は、事前申込み15,000円、当日申込み17,000円となります。また、今回一般参加申込みをされた方には次回のシンポジウム案内を差し上げる予定です。